

**経験を現場で生かし安全な救助を
交通事故を想定した救助事案対応訓練**

5月30日、市消防署は、事故車両からの救助を想定したつり上げ・破壊訓練を消防庁舎敷地で実施しました。

市内で発生が少ない交通事故を想定し、安全で迅速、確実な現場対応を身に付けることを目的に行う訓練には10人の職員が参加。市内企業から寄贈された廃車となった軽自動車を用いて、車両の下に残された人を救助する救助工作車でのクレーンつり上げ訓練や車両内に閉じ込められた人を救助する油圧救助器具での破壊訓練を実施し、実際の事故現場を想定しつつ、真剣に手順を確認しながら訓練を行っていました。

5/30



▲一斉にスタートする子どもたち

**桜の下を笑顔で駆け抜ける
登別いさぎのぼりミニマラソン**

5月18日、第49回いさぎのぼりミニマラソン（登別市子ども会育成連絡協議会主催）が川上公園で開催されました。

昨年ミニマラソンとして5年ぶりに開催された『このぼりマラソン』に、今年は約260人の子どもたちがエントリー。大会は未就学児による約150名の競技で幕を開け、その後中学生、小学校低学年・高学年、小学生親子の部門毎に3歳を走りました。

号砲を受けスタートを切った子どもたちは、保護者からの声援に笑顔を見せ、息を弾ませながらヤエザクラの木の下を一生懸命走り抜きました。

5/18



▲軽自動車を吊り上げ要救助者に見立てた人形を引き出す職員

**今から収穫が楽しみ
ふれあい農園『田植え』**

6月7日、千歳町にある『ふれあい農園』で、地域学校協働本部実行委員会の幌別中学校区地域教育協議会による田植えが行われました。

児童生徒と地域住民との交流を目的に実施する幌別中学校区での米作り体験は、地域の恒例行事。昨年は、苗が確保できず実施できませんでした。今年は40人の児童が参加し、ぬかるむ田んぼに足を取られながらも、泥の感触を楽しみながら1本ずつ丁寧に苗を手植えしていました。

今回植えた苗は、秋には稲刈りを行い、冬には収穫したお米の試食をする予定です。

6/7



▲啓発物品を手渡すとともにヘルメット着用を呼び掛ける様子

**ヘルメット着用で頭部守って
自転車の安全利用に関する駅前啓発運動**

5月29日、市と市交通安全協会は、室蘭警察署協力の下、JR幌別駅西口で自転車の安全利用に関する啓発運動を行いました。

令和5年4月から努力義務化されている自転車利用時のヘルメット着用の促進を図るため、この日は参加者9人が、通勤・通学などで自転車を利用している方に対し、啓発チラシや自転車用ライトなどを手渡すとともに、自らの命を守るヘルメットの着用を呼び掛けていました。

自転車利用時のヘルメット着用の努力義務化については、市公式ウェブサイトをご覧ください。

5/29



▲はだしで田んぼの感触を楽しむ児童たち